



ゆずっこ

福島市立御山小学校
学校だより NO. 2
令和6年6月6日(木)
発行者 校長 高澤 里美

6年生という存在

「6年生の姿を見れば、その学校全体の様子がわかる」と言われます。6年生は、最高学年として様々な場面で学校の代表として活動します。そのいくつかを通して、6年生という存在が御山小学校にとってどんなに大きなものであるかをお伝えします。



来年は、私たち

全校生に披露

5月10日(金) 御山ウォークラリー

御山小学校の中に設置されたチェックポイントを、1年生から6年生までの14人前後のゆずっこ班でまわり、それぞれの課題にみんなで挑戦します。

この「みんなで」が、最も困難な課題であることに、班長・副班長を務める6年生はすぐに気付きます。迷子になっちゃう子、「疲れた、もうやらない」と座り込む子、いつの間にかトイレに行っちゃう子…

6年生は、何度も何度も人数を確認します。

「次のポイントには担任の〇〇先生が待ってるよ」「理科室のところにいるからトイレが終わったらもどってきてね」

優しく班のメンバーに声をかけます。

きっと、早く次のチェックポイントに移動したいだろうに、一つでも多くクリアしたいだろうに、班長・副班長の務めを果たします。低学年にとって、頼りになる存在が6年生です。

5月10日(金) 全校生に鼓笛を披露

鼓笛パレードが目前のこの日、晴天の下、急遽、全校生に鼓笛の演奏・演技を披露しました。「来年、自分たちがやるんだ!!」5年生が熱い視線を送ります。1年生は、覚え立ての校歌の演奏に大喜び、「わたし、あの大きな旗の人になりたい」早くも夢が膨らむ2年生、「校歌弾けるよ」鍵盤ハーモニカになれた3年生、「やっぱり、すごいね。6年生は」感動しきりの4年生。「あんなふうに鼓笛をやりたいな」

あんなふうに・・・「下学年から憧れてもらえる6年生を目指そう」、ある日の6年生の教室の黒板に書いてあったことを思い出しました。

5月15日(水) 福島市鼓笛パレード

御山小学校のプラカードを掲げ、パレードするのはさぞかし緊張することでしょう。でも、6年生は会場に着いても笑顔いっぱいです。これまで、何度も何度も繰り返し演奏してきた、そんな自信を感じました。



学校生活の中で見せる6年生一人一人の姿を目にした下級生が、「あんな6年生になりたいな」「あんな6年生になって、わたしたちの御山小学校をもっともっといい学校にしよう」そう思ってもらえる毎日がやってくる!と感じさせる6年生の活躍です。

見方を変える…

校長室の入口の戸を開けると、いつも美しい花が目飛び込んできます。地域にお住まいの方が、ボランティアでご自宅に咲く花々を週に1回のペースで生けてくださるのです。

これまで、近くで花を愛でる生活とはほど遠い日々を過ごしていた私にとって、ふと見ると目に入るこの生け花は心の癒やしです。花が、与える安らぎや温かさがこんなにも自分の支えになることを初めて知りました。

5月27日に生けてくださったのはバラです。ミニバラがアーチになってとても華やかです。



ある日、ふと見たときに全く違った表情で咲いていることに気がきました。

右から見るとアーチが消えて、バラ園の中の風景のようです。

日常の風景に何気なくあるものやいつもそばにいる人も、見方を変えると新しい魅力を発見できることを今さらながら実感しました。子どもたちもそうです。学校で過ごす子どもたちが見せる顔は、



ほんの一面、家庭で見せる顔もまたそれが全てではないのかもしれないかもしれません。

目の前の子どもが本当はどんな思いでいるのか、どんな助けを必要としているのか、ということに常に心を配りながら、寄り添いたい…、子どもの一面だけを見て「この子は〇〇な子」と表現することもしたくない…と改めて思いました。

子どもの姿を様々な面から見つめ、本当の意味で理解してあげることができる、そんな大人になりたい…美しい花々は、大切なことも伝えてくれます。感謝 (高澤)

安全に気を付けた運転を…

登校時、学校周辺の道路は車の往来が激しく大変混みあっています。そんな中、多くの運転手の方が、子どもたちの歩行に配慮して走行してくださっていることに感謝しております。朝の通勤時は特に、気持ちが急いでいらっしやることはと思いますが、引き続き、通学路を車で走行される際は、安全に気を付けていただきますようお願いいたします。

登下校は歩いて…

御山小学校では、特別な事情（けが等）のある場合以外は、子どもたちは自分で歩いて登下校することになっています。特に、校門付近（駐車場への出入口）は、車の出入りが激しく、事故が心配される状況です。歩いて登下校する児童の安全のためにも、原則として車での送迎はご遠慮ください。

少し遠回りでも横断歩道を…

横断歩道のない場所を横断するのは、大人の方が付き添っていたとしても大変危険です。少し遠回りでも、決められた通学路の横断歩道を利用するようお子さんと確認していただきますようお願いいたします。



数年前、県内の小学校で、登校時、保護者が校門近くで児童をひいてしまう死亡事故が起こっています。絶対にこのような悲劇が起こらないようご協力をお願いいたします。